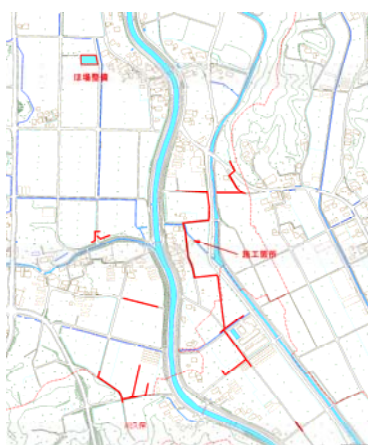


工期短縮と施工上の創意工夫

袋井支部
株式会社 大浜中村組
河原崎 篤

1 工事概要

- ①工事名 平成24年度経営体育成基盤整備 下土方地区用水路3工事
- ②発注者 静岡県中遠農林事務所
- ③工事箇所 静岡県 掛川市 下土方 地内
- ④工期 平成24年12月17日 ~ 平成25年 2月28日
- ⑤工事内容 管水路工(水田パイプライン) 1775.51m



平面図

2 問題点(課題点)

工事着手前

- ①工期が年末年始を挟み、工事期間が短いため施工班の調整が必要。
- ②工期が無い上、管材についても年末年始を挟み納入が2月上旬
- ③同時期にフォアス(暗渠排水)工事があり調整が必要。
- ④給水栓位置の確認が必要。(42箇所)

事前測量・調査

- ①埋設管・横断構造物が何ヶ所もあることが判明。
- ②工事箇所は農道で狭く、片側通行での施工は困難。
- ③工事箇所は、下小笠川の河床より低く湧水があり施工が困難。
湧水箇所は、ウエル等で対応できる土質ではなかった。
- ④管接合部の部材については、発注してからの製造にかかり納入に1ヶ月かかると言われ事前測量の正確さが必要。

3 対応策と適応結果

工事着手前

- ①施工班の班長を決め、1日の施工量を話し合い工程を組んだが3班施工でも間に合わないことがわかり、5班で施工することにした。施工班を増やせば管の接合部材が増えてしまうこともあり、どこから施工させ出来るのか話し合い、工程を組み工期内に施工完了できた。
- ②管材は、工事着手と同時にストレート管だけは発注を駆け納入業者にも協力してもらい1月末には納入できた。
- ③フォアス(暗渠排水)工事にかかる田をなるべく早く施工することにした。本工事の残土で、ほ場整備をする田もフォアス施工することもあり、残土の残る路線を優先して施工した結果、フォアス工事に支障がかからないようできた。
- ④給水栓位置確認を一軒一軒訪問していたら間に合わないことは分かっていたので地元役員に説明会を開催してもらい、その時に位置の確認が出来たため管材発注が早く出来た。

事前測量・調査

- ①埋設管は試掘を全ヶ所行い、管割図作成は正確にできた。。



- ②5班施工で、現道は狭く近隣住民には通行に迷惑がかかるため、事前に図面に施工時期を表記して説明に廻り、地区には回覧板、現場には工事看板で表記した。地元の協力もあり、苦情もなく施工できた。
- ③湧水の処理については、管路上に釜場をもうけ水中ポンプで対応できた。釜場を設置したため、管材の接合(接着)は支障なく施工できた。



- ④管路決定も担当監督員が敏速に動いて頂いたため、管割図も早く作成でき予定していた

日より早く発注することができた。



4 おわりに

工事を振り返ってみると、工程・安全・品質は良好な現場にすることが出来た。工程に関しては、雨天で工事休工になった日があったにも関わらず、工程どおり進捗したことはうまく立ち回れたと思います。また、監督員の対応も早く、週に何回も現場に足を運んでくれたお陰で手待ち状態なることもなく工事完了でき大変有り難うございました。今後の工事は、工期内検査を念頭において工事をしたいと思います。



完 成